

# みんなのた場

## スポット ライト

### 女子軟式野球の宮城アイジース 発足2年目で日本一 地元中学選手が貢献

石巻地方の女子中学生らで構成する軟式野球チーム「宮城アイジース」が8月7日に東京で行われた「第15回全日本女子軟式野球学生選手権大会」の中高生の部に出場。発足2年目で初優勝し、悲願の日本一に輝きました。

全開大会には16チームが出場。緊要な年りとつなぎの打撃でトーナメントを勝ち進んだアイジースは、決勝で東京の城南鷹翔クラブと対戦しました。熱戦を繰り広げた結果、2-1で勝利。接戦を制し、頂点に上り詰めました。

アイジースは「女子チームで野球がうまくならない」と集まった県内の中学生14人で構成。平日は各中学校の野球部やソフトボール部などで練習し、土日は石巻地方のグラウンドなどで各種大会の優勝に向けて練習汗を流しています。

現在、市内からは大友希実(門脇中2年)、小野寺彩音(石巻中2年)、堀野鈴菜(河南西中2年)の3人が外野手をそれぞれ活躍しています。大会では堀野選手が5塁で右翼手、小野寺選手が下位打線を打ち、右翼と二塁を守り、優勝に

貢献しました。小野寺選手は「目標としていた日本一を達成できて満足しています。これからも強豪と戦えるようにお互いを高め合っていきたいです」と喜びを話しました。

堀野選手は「強い相手と試合をして常に上位に入るためには、甘い球を確実に打ち、アウトをしっかり取れるチームにならないといけないと思いました」と振り返りました。

大友選手は「勝つにはプレー以外にも声を出し、仲間を鼓舞することが必要だと改めて感じた。全員でつかんだ栄冠です」と笑みをみせました。

チームは8月5日の全日本中学女子軟式野球大会(京都市)にも出場し、ベスト8の成績を挙げました。選手たちは、喜びをかみしめる間もなく、11月に県内で開催される東北大会に向け練習に励んでいます。



日本一に貢献した市内のメンバー左から小野寺さん、大友さん、堀野さん



11月の東北大会に向けてバットを振り込む市内の選手

## キラッとパチリ

### 防災推進課

小貴 龍太さん 27歳  
神奈川県横浜市から移居



### 持てる力出し切る

警察官の父の影響で人のために働きたいという思いを持ち市職員になったので、復旧に携わりたく自ら志願しました。

被災・老朽化した消防団ポンプ置き場や車庫などの整備を担当しています。初めての業務なので、あいまいな部分を残さないことを心掛けています。分からないことは多々ありますが、それだけに石巻市で仕事に携わっている実感を覚えています。市内を回るとまだ震災の爪痕が残っていると感じます。難しく考えずに持てる力を全て出し切り復興に貢献したいです。

## 第27回 感染症から身を守るには

石巻市立病院 臨床検査室 長原 信行

雨が多く、暑い日も少ないままの今年の夏も過ぎると、インフルエンザやノロウイルスに気をつけなければならない寒い季節へと向かいます。今回は感染症を予防するために必要な方法をお話したいと思います。

感染予防には3原則という基本的な考え方があります。(1)感染源(2)感染経路(3)健康・免疫の管理という3つのことで、これら3つのつながりを断ち切れれば感染症にはかからないということになります。

(1)の感染源とは、原因となるウイルス、細菌、カビなどのことで、それらを排除することが大事です。この感染源は汚れているところに存在することが多く、定期的な清掃などによる清潔の保持と細菌やウイルスに合った消毒により、これらを持ち込まない事、これ以上増やさないことが大切です。

(2)の感染経路とはウイルスや細菌が体内に侵入する経路の事で、①接触・経口感染は手指、食品、器具を介して感染する経路でノロウイルスやO157などです。②飛沫感染は咳、くしゃみ、会話などで飛沫粒子(5μm以上)により感染する経路で、この粒子は1m以内の床に落下し、空中を浮遊し続けることはありません。インフルエンザや風疹ウイルスなどです。③空気感染は、やはり咳、くしゃみなどで、口から飛び出した飛沫核(5μm以下)が空中に浮遊し、空気の流れにより飛散するもので、結核菌や水痘ウイルスなどがあります。これらは手洗い、うがいの励行や身のまわりを清潔に保つことが重要になります。

そして(3)の健康・免疫の管理とは、普段の健康管理が早期発見につながりますし、抵抗力が強ければ感染しても病原体そのものを排除したり、増殖を抑えたりすることもでき、たまたま発症したとしても重症化し難くすることができます。

感染症を100%予防することは困難ですが、感染しても発症させないことや重症化させないためには、十分な栄養と睡眠をとる事や予防接種を受けること、また普段からの体力作りも役に立つはず。今、石巻地域では手足口病が増えているようです。これもウイルスによる感染症です。小さいお子さんがいる家庭では大人も一緒に手洗いをすることで、楽しく手洗いができる習慣を身につけてくれると良いですね。これらの事に少し注意してみるだけでも、風邪をひきにくい体で今年の冬を過ごせるかもしれませんよ。ぜひ試してみてください。

## 「みやぎ食育フォーラム」を開催します！



### 食育推進コーナー

- 宮城県は「みやぎ食育フォーラム」みやぎの食育を次世代につなげよう」を開催します。
- 11月1日(水)午後1時30分～3時30分
- パレットおおみやぎ多目的ホール(大崎中古川穂波三丁目4-20)
- 子どもの健康なからだをつくる食生活・アスリートの食事から学ぶ」と題し、ナショナルチームや多くのトップ・ジュニアアスリートへの栄養サポートに携わる大妻女子大学教授小清水孝子氏の講演があります。
- このほか事例発表では、学校給食を通して食文化を継承する取り組み、学校と地域が連携した食育や企業が取り組んでいる食育活動の報告があります。

宮城県保健福祉部  
健康推進課食育・栄養班  
022-211-2637  
市健康推進課  
(内線24200)



# まちの話題

## 新たな歴史へ向かってゴー!!

雄勝小・中学校統合後初めての大会が9月9日、新校舎の校庭で行われました。

雄勝地区の住民運動会「おがつスポレクまつり」と合同で開催され、保育園児や大学生ボランティアを含め400人以上が参加しました。

好天の下、児童生徒と地域住民が合同で行う競技もあり、子どもが大人を応援するほほ笑ましい姿も見られ、新たな歴史を刻みました。



雄勝地区

小・中学校統合後の運動会

河北地区

## 無事故へ一丸 パトカー巡回

秋の交通安全運動が9月21～30日に行われました。それに先立ち、市交通安全都市推進協議会と石巻、河北両署などの合同出動式がウジエスパー一飯野川店駐車場で行われ、幼稚園児4人の交通安全宣言に続いてパトカー約20台が市内巡回しました。河北地区交通安全大会では小学生の優秀標語を表彰したほか、事業所などが飲酒運転根絶宣言の署名簿を提出し、地域ぐるみの交通安全を誓いました。



秋の交通安全運動

## 長寿祝い小学生はねこ踊り

桃生地区敬老会が9月16日、桃生農業トレーニングセンターであり、長寿と幾たびの苦難を乗り越えた人生を祝福しました。

77歳以上のお年寄り255人が出席。市長あいさつや来賓祝辞に続き、米寿を迎えた88歳の59人に敬老祝い金が贈られました。アトラクションでは日本舞踊や股旅演歌舞踊のほか、保育園児による合唱と遊戯、小学生のはねこ踊りを楽しく観賞しました。



桃生地区

桃生地区敬老会

河南地区

## 世代や地区越え 楽しく交流

今年に入り4回目の「ふるさと子どもカレッジ」が9月23日、旭山農業体験実習館「コロボックルハウス」で行われました。市内の小学生18人が河南地区のジュニア・リーダー6人の指導で体を使った遊びなどを体験しました。リーダーの中高生がアレンジした「みずとミルク」や「猛獣狩り」などの遊びに加え、星空観察も楽しみ、世代や地区をまたいだ交流が生まれました。



ふるさと子どもカレッジ

## 勢子たちが奮闘 豪快に捕獲

逃げ回るシカを勢子(せこ)が豪快に捕獲する「シカの角切り」が10月1日、金華山の鹿山公園で行われました。

勢子たちは赤い旗を付けた竹棒でシカを追い込み、角を手で押さえ込んだり、十字型の投げ縄を使ったりして捕まえると、大勢の観衆から拍手が送られました。神職がのこぎりで角を切り落とすと、シカたちは飛び跳ねながら山に帰って行きました。



牡鹿地区

金華山シカの角切り

北上地区

## 全車両そろい震災前の形に

市消防団の消防演習が9月10日、北上中学校校庭で行われました。北上地区から出場した10班が積載車操法競技に挑み、きびきびした動きを披露しました。震災後の演習は津波の影響などで北上地区の消防車両が少なくなったことから積載車操法の披露だけでしたが、今回から全車両がそろい、震災前の形に戻りました。競技の結果、第1分団釜谷崎班が優勝しました。



消防演習

## 野球場の外でも復興を支援

プロ野球読売巨人軍の3軍の選手ら約30人が10月3日、中央二丁目の「いしのまき元気いちば」を訪れました。

震災復興支援の一環で、市内で行われた日本製紙石巻との試合終了後、「野球以外でも復興を支援したい」と訪問。選手らは2階のレストランで海鮮丼や刺身身定食などの海の幸を堪能し、1階の市場で思い思いにお土産を購入しました。



石巻地区

巨人軍選手が買い物

石巻地区

## 遊びを通じて子育てを学ぶ

幼稚園教諭や保育士が遊びの方法などを紹介する「楽しさいっぱい・こども展」が10月1日、イオンモール石巻でありました。親子連れなどが幼児期の子育てについて、遊びを通じて学びました。特設ステージでは自宅でできる簡単な体操を紹介。リズムに合わせて手をたたいたり飛び跳ねたりする動きを、子どもたちがまねて楽しんでいました。



楽しさいっぱいこども展